

おおい図書館

No. 144

発行 おおい図書館
 代表 青木和子
 松本市原ノノ4-406
 TEL 047-311-0886

図書館友の会全国連絡会

第四回総会と要請行動。

報告 青木和子

5月17日(月)、江東区総合区民センターで、第4回総会が開かれました。全国連絡会への加入団体65、加入個人52人(2010年4月1日現在)のうち、当日の参加は50人でした。活動報告・会計報告・活動方針、予算・役員選任が承認され、自由討議が行われました。そして、全国連絡会の2010年キャッチフレーズとして「手をつなぎ 図書館を支える 図友達(国)図書館友の会全国連絡会」と決まりました。

総会の後は、「これからの図書館

館を展望するー電子図書館が未来を拓く」のテーマで、国会図書館の資料のデジタル化の現状や問題点について、国立国会図書館館長の長尾真氏の講演がありました。著作権に関わるので新しいものは難しいが、予算がつけられたので、全資料の1/4ほどは近いうちにデジタル化できることなど、話されました。翌18日(火)には、総務省・文部科学省・文教関係国会議員への要請行動が行われました。(参同団体67・参同個人22名) 総務省には「公立図書館の振興についての要望書」、文部科学省には「公立図書館、学校図書館の振興を求めろ要望書」を

持参し、担当者と面談して意見交換しました。

国会議員の方々には、議員会館の各部屋を訪ねて要望書を手渡し、協力をお願いしました。

残念ながら、この日の要請行動には「おおい図書館」からは参加しませんでした。

このような毎年の要請行動や昨年から開催の院内集会などの結果、国会議員の方々の図書館への関心、理解が少しずつ深まっているのではないのでしょうか。それが今後の国の図書館政策として反映されることを、大いに期待したいと思います。



次頁に、それぞれ要望書を掲載します。

2010年5月18日

総務大臣

原口一博様

図書館友の会全国連絡会

代表 佐々木順二

東京都板橋区高島平3-10-21-103

その他賛同67団体

公立図書館の振興についての要望書

今年が「図書館法」制定60周年、また、国民読書年という記念すべき年です。今年が図書館振興の起点の年として国民の記憶に残る年となることを期待します。

私たち「図書館友の会全国連絡会」は、全国の公立図書館が地域の情報拠点として発展することを願って各地で活動し、国に図書館の振興発展を求め、2006年来毎年要望を行ってきました。私たちは、「図書館法」「文字・活字文化振興法」及び「ユネスコ公共図書館宣言1994年」がめざすところの図書館がこの国に実現することを強く願っています。

市民のかけがえのない財産である図書館の振興を求め、以下2点の実現を要望します。
6月末日までに、図書館友の会全国連絡会代表にご回答ください。

要望事項

1. 図書館への指定管理者制度導入は、各地で問題を起こしています。住民に公開された時には、すでに導入が実質的に決定されており、情報を求めても公開されず、十分な説明もありません。地方公共団体が指定管理者制度導入に当たって求められている手続きがきちんと行われているのか、調査しその結果を公表してください。「市場化テスト・事業仕分け」などによる図書館運営の民営化も、また、同じ弊害をもたらします。指定管理者制度と同じく調査しその結果を公表してください。

法によらない、独自の「市場化テスト」を実施するところも出ています。このように法の規制を骨抜きにされれば国民は守られません。法に基づいた管理運営がなされるように対応してください。

2. 国立国会図書館で進めている資料のデジタル化計画は、将来に大きな力を発揮する画期的な取り組みとして期待しています。現状では、県立図書館が中心となって県域の資料搬送を受け持ち、県内の資料流通システムは作られています。しかし、県域を越えた場合は、借り受ける館が送料を負担しますが、予算が無いので断わる、利用者に経費を負担させる、などが起きています。貧富の差なく、誰でも必要な資料を入手できるよう、県域を越えた資料の流通に必要な郵送費等を国が負担してください。

2010年5月18日

文部科学大臣

川 端 達 夫 様

図書館友の会全国連絡会

代表 佐々木 順二

東京都板橋区高島平 3-10-21-103

その他賛同 67 団体

公立図書館、学校図書館の振興を求める要望書

今年「図書館法」制定 60 周年、また、国民読書年という記念すべき年です。今年が図書館振興の起点の年として国民の記憶に残る年となることを期待します。

私たち「図書館友の会全国連絡会」は、全国の公立図書館が地域の情報拠点として発展することを願って各地で活動し、国に図書館の振興発展を求め、2006 年来毎年のように要望を行ってきました。私たちは、「図書館法」「文字・活字文化振興法」及び「ユネスコ公共図書館宣言 1994 年」がめざすところの図書館がこの国に実現することを願っています。

市民のかけがえのない財産である図書館の振興を求め、以下 8 点の実現を要望します。

6 月末日までに、図書館友の会全国連絡会代表にご回答ください。

要望事項

1. 公立図書館、学校図書館の振興政策について

立ち遅れているわが国の公立図書館・学校図書館を加速的に発展させるため、予算を伴った図書館振興政策を策定してください。

2. 公立図書館への補助金について

知る権利、学ぶ権利を生涯にわたって保障する公立図書館は、誰でも無料で情報を得ることができるきわめて公共性の高い施設です。自治体格差なく、有効に機能させるために、司書館長・司書職員の配置を要件とする、図書館建設及び資料費等への補助金を措置してください。

3. 公立図書館運営の民営化について

2008 年、衆参両院の委員会が附帯決議した事項（指定管理者制度の導入による弊害、人材確保、有資格者の雇用確保など）について、実効ある施策を実施してください。

「市場化テスト・事業仕分け」などによる民営化もまた同じ弊害をもたらします。図書館運営を民営化の対象から外してください。

4. 学校図書館への補助金について

学校図書館充実に措置された図書整備費などが、その目的のために使われるように、用途を明確にした補助金としてください。「図書標準」に達している学校図書館は、小学校 45.2%、中学校 39.4% (19 年度末、文科省調査) に過ぎません。

5. 学校図書館運営の民営化について

公立図書館を受託した指定管理者が社員を学校図書館へ派遣し、学校図書館を実質的に民間業者が運営するということが起きています。学校図書館運営のノウハウやスキルが指定管理者に偏り、学校図書館の継続的な発展を阻害します。適切な対応をとってください。

6. 学校司書について

子どもたちの学びに寄与できる学校図書館はいつも開いていて 子どもたちや教諭が必要とするときにすぐ資料を手渡してできる「人」がいなければなりません。「人」である学校司書と司書教諭が連携することも重要です。司書資格を持つ正規の学校司書をすべての学校に専任で配置してください。

7. 司書教諭について

「学校図書館法」附則が「(11 学級以下の学校には) 置かないことができる」とされているため、司書教諭の配置は公立小学校 61.8%、公立中学校 59.1% (H20 年 5 月現在、文科省調査) に過ぎません。また、事実上兼務といってもよい配置では司書教諭が担うべき役割を効率的に果たすことはできません。専任の司書教諭をすべての学校に配置してください。

8. 全国資料搬送について

国立国会図書館で進めている資料のデジタル化計画は、将来に大きな力を発揮する画期的な取り組みとして期待しています。現状では、県立図書館が中心となって地域の資料搬送を受け持ち、県内の資料流通システムは成り立っています。しかし、県域を越えた場合は、借り受ける館が送料を負担しており、予算が無いので断わる、利用者に経費を負担させる、などが起きています。貧富の差なく、誰でも必要な資料を入手できるよう、県域を越えた資料の流通に必要な郵送費等を国が負担するなど、全国の資料流通システムを整備してください。

第十回

千葉県内図書館関係

市民団体連絡会

報告 青木和子

(5)

6月26日(土)、市川市市川駅前南口図書館で交流会が開催されました。参加はク団体(市川・市原・浦安・君津・佐倉・千葉・松戸)と我孫子市民図書館(「アビスタ」内)館長で千葉県生涯学習審議会委員の井上玲子さん。担当は、市川市図書館友の会でした。

前半は、各団体からの活動報告。浦安では、7月6日に新しい分館が開館すること、4月からはこの公民館図書館が分館となったことなど。

市原では、図書館協議会に「かけはしの会」から1名が選ばれた。佐倉では3名の公募があるが、選定基準は不明。千葉では、公募委員として「考える会」から1名が

内定したことなどが報告されました。(◎松戸には「図書館協議会」はありません。)

松戸からは、6月13日の市長選挙に向けて、候補者への「公開質問状」を実施したこと、新しい市長が誕生したこと、そして、今後の市の図書館政策への期待などを報告しました。

後半は、県生涯学習審議会内の「これから図書館の在り方検討協力者会議」委員としての井上玲子さんから、県教育委員会の諮問を受けての答申「今後の千葉県における図書館の方向性について」の報告がありました。今後、パブリック・コメントの募集を予定しているとのことです。

次回は、2011年1月30日(日)、君津市での開催の予定です。

◎松戸市では

6月13日(日)の松戸市長選挙の結果、4期16年間務められた川井敏久市長に代わって、本郷谷健次氏が選ばれました。

まちづくりの中で「図書館」が大きな役割を果たすことを認識しておられる本郷谷市長に、大いに期待したいと思えます。

◎松戸市立図書館では

一昨年3月まで勤務された高野吉雄館長の後任の深井操館長が任期1年で退職され、今年4月からは安部英雄館長が就任されました。松戸市立図書館の発展のため、ご尽力下さることを期待します。

しかし残念なことに、2010年度の図書館費は大幅な減額がされています。その内容は……?

次頁に掲載しますので、どうぞしっかりとご覧下さい!



松戸市 教育費・図書館費の変遷

(単位:千円)

	2007年度 (H.19)	2008年度 (H.20)	2009年度 (H.21)	2010年度 (H.22)	前年度の 比較
教育費	12,928,044	13,735,525	13,752,731	12,803,556	▲979,175
教育総務費	2,229,888	2,340,215	2,630,304	2,258,055	▲372,249
小学校費	1,948,634	1,991,033	2,389,735	2,814,287	424,552
中学校費	1,766,067	2,216,363	1,501,010	1,449,584	▲51,426
高等学校費	798,641	805,918	1,002,928	901,781	▲101,147
幼稚園費	745,404	758,058	786,803	0	▲786,803
社会教育費	2,452,989	2,388,483	2,326,809	2,268,943	▲57,866
保健体育費	2,986,421	3,235,435	3,115,142	3,110,906	▲4,236
図書館費	296,498	291,056	290,118	243,096	▲47,022
図書館管理運営事業費	241,211	244,129	254,332	238,864	▲15,468
図書等購入費	67,168	69,148	69,148	69,148	0
貸出等管理業務	16,860	15,455	15,385	15,404	19
受付業務	92,454	94,204	89,672	91,225	1,553
施設維持貸出業務	20,361	21,323	26,925	21,060	▲5,865
身体障害者図書管理業務	1,619	1,429	2,147	2,133	▲14
講座等行事開催業務	287	285	285	285	0
広報業務	56	50	50	50	0
情報化推進業務	42,406	42,235	50,720	39,559	▲11,161
幼児・児童の読書普及事業	55,287	46,927	35,786	4,232	▲31,554
おははしキキバン事業委託業務	54,011	45,972	0	—	—
読書普及活動業務	1,022	955	35,786	4,232	▲31,554
おははしステイブル補助金	254	0	—	—	—
松戸子どもの本ネットワーク	0	—	—	—	—